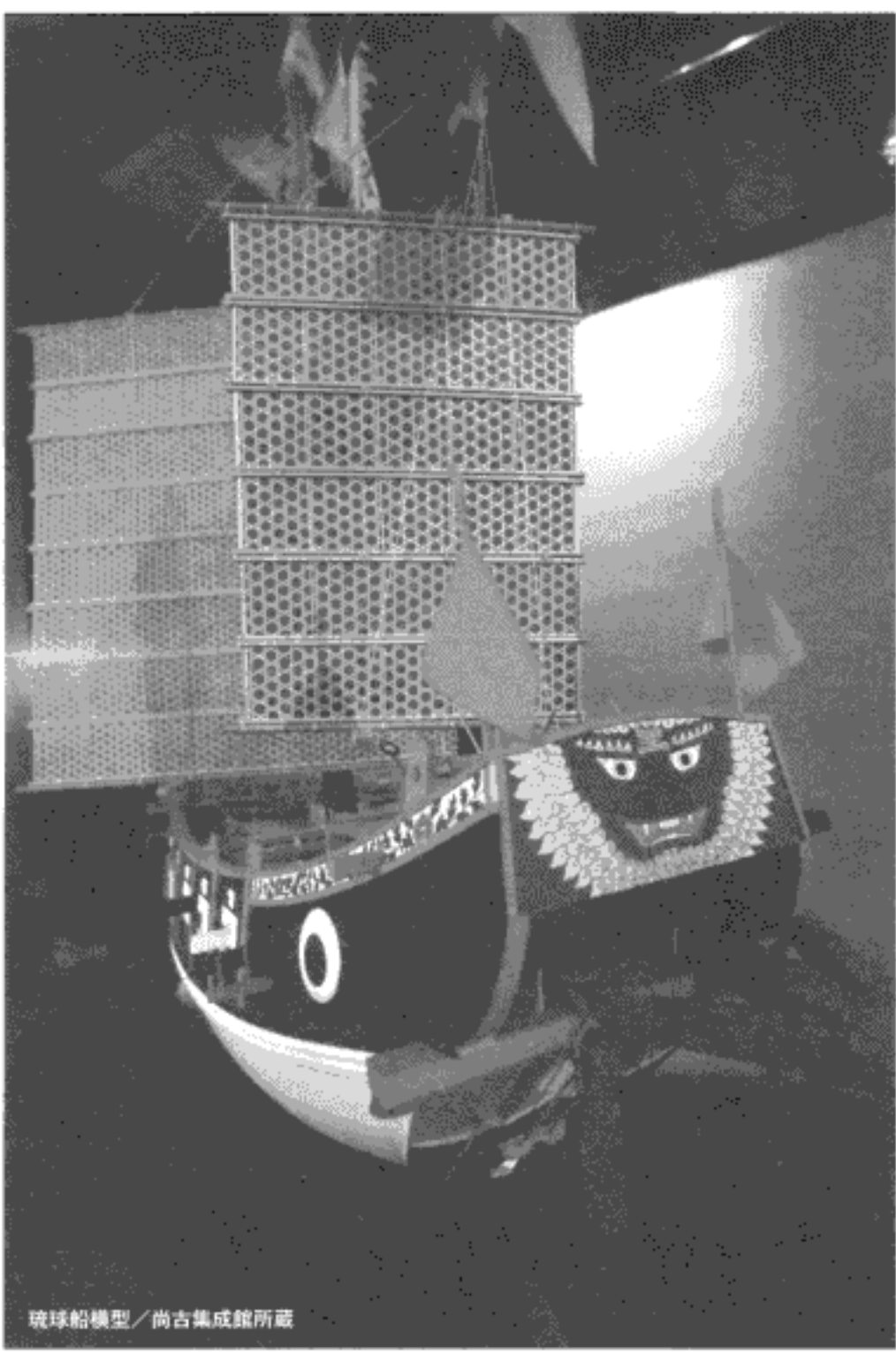




琉球船模型／尚古集成館所蔵

海洋国家薩摩

尚古集成館本館「平成の展示大改修」記念特別展示

失われた琉球船の復元。

2005/12月3日(土)～2006/2月2日(木)

尚古集成館別館

EXHIBITION 2

開館時間／午前8時30分～午後5時20分 *開催期間中無休

観覧料／大人 1000円
小・中学生 500円 *仙巖園と共通
*12月31日までは尚古集成館のみの特別観覧
チケットあり(大人600円／小・中学生250円)

主催／尚古集成館 日本財団助成事業



- 交通情報
- 鹿児島中央駅より民営バス3社
かごしまシティビュー仙巖園(磯庭園)前下車徒歩1分
 - 鹿児島中央駅より車で25分、鹿児島空港より車で40分
- *駐車場／大型バス50台、乗用車500台

〈展示の概要〉

江戸時代、幕府が大船建造禁止令を發布したため、国内の造船技術は著しく低下しました。しかし、江戸時代の琉球では、中国と日本の二重支配を受けていたため、大船建造禁止令は適用されず、中国式の船(ジャンク)が造られていました。また、年頭使をはじめとして琉球の人々は、様々な機会に薩摩を訪れることになっていたため、鎖国政策をとっていた江戸時代にも薩摩には琉球船を通じて様々な文化や情報や物がもたらされ、それによって独特の文化を形成していました。

今回の展示では、その琉球船の復元の経緯と、琉球船によってもたらされた薩摩の独特の文化、海洋国家薩摩についても紹介します。



日本財団助成事業
The Nippon Foundation



この特別展は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します